

平成 29 年 9 月 15 日

総務部 情報政策課

TEL 0742-34-4722

平成 29 年度 オープンガバメント推進協議会公開シンポジウムの開催について

本協議会は、ビッグデータ・オープンデータの利活用推進を掲げて平成 25 年度に設立されて以降、様々な取組みを行っており、全国に活動の輪を広げています。

今年度、加盟団体がビッグデータ・オープンデータそれぞれについて、民間団体と連携した取組みについて、その成果を発信し、更なるビッグデータ・オープンデータの利活用の推進に資するため、下記のとおり公開シンポジウムを開催します。

記

【目的】

ビッグデータ活用・オープンデータの取組みを推進するため、これからのまちづくりにおけるビッグデータ・オープンデータの活用のあり方や可能性を、参加者と共に考え、情報を共有することで、活用に向けたさらなる機運の高まりを誘導するとともに、新たな知見の発見につながるきっかけづくりの場を提供する。

【日時】 平成 29 年 10 月 21 日（土）14：00～17：00（受付 13：30～）

【会場】 奈良ロイヤルホテル 2 階 鳳凰の間

【プログラム】

(1) 開会挨拶 オープンガバメント推進協議会 会長 熊谷 俊人（千葉市長）

(2) 開催自治体挨拶 オープンガバメント推進協議会 仲川 げん（奈良市長）

(3) 基調講演

テーマ データで創る合理的配慮～自助・共助・公助のパラダイムシフト～
講師 特定非営利活動法人コミュニティリンク 榊原 貴倫 氏

(4) 事業成果報告①

テーマ オープンデータを用いた地域防災マップ
報告者 株式会社ウェザーニューズ 宇野沢 達也 氏

(5) 事業成果報告②

テーマ ユーザー参加型・全自治体の給付金情報ポータルサイト

「わたしの給付金」のご紹介と今後の展開

報告者 株式会社 Zaim 閑歳 孝子 氏

(6) 事業成果報告③

テーマ 「データリテラシー向上研修プログラム」中間報告

報告者 一般社団法人オープンガバメント・コンソーシアム 高橋 範光 氏

(7) パネルディスカッション

ア 出席者 各縣市首長

※ モデレーター：一般社団法人オープン・ナレッジ・ファウンデーション・ジャパン 庄司昌彦氏

イ テーマ

(ア) オープンデータの活用について

a 「街歩き及びマッピングパーティの実施」について紹介

b 防災をテーマとした行政と住民の双方向での情報共有について

c オープンデータに関するフリーディスカッション

(イ) ビッグデータの活用について

a 「データリテラシー向上研修プログラム」の研修テーマの活用アイデアについて

b ビッグデータに関するフリーディスカッション

(8) 閉会挨拶 オープンガバメント推進協議会 副会長 鈴木 康友（浜松市長）

【参加費】 無料

【定員：参加申込方法】 100 名程度（申し込み多数の場合は抽選）

10 月 6 日（金）までに、氏名・ふりがな・電話番号を明記し、E メールまたは FAX で受付（E メール opendata@city.nara.lg.jp FAX 0742-34-6674）

【主催】 オープンガバメント推進協議会

《一般会員：地方公共団体》

武雄市・千葉市（会長市）・奈良市・福岡市・三重県・室蘭市・大津市・弘前市・横須賀市・郡山市・日南市・浜松市

《特別会員：大学・民間企業等》

東京大学大学院情報学環須藤修研究室、日本アイ・ビー・エム株式会社、日本マイクロソフト株式会社、一般社団法人オープン・ナレッジ・ファウンデーション・ジャパン、一般社団法人オープンガバメント・コンソーシアム

オープンガバメント推進協議会概要

1 目的

産・官・学の連携の下、次に掲げる事項についての取組を行うことで、行政の効率性及び透明性を高め、市民主体のまちづくりの向上や市民サービスの向上、新産業の創出、地域経済の活性化へ寄与することを目的としています。

- (1) ビッグデータ・オープンデータの具体的活用策についての検討及び活用の推進
- (2) マイナンバー制度の利活用の推進

2 設立

平成25年4月1日

(「ビッグデータ・オープンデータ活用推進協議会」として設立。平成27年4月1日付で「オープンガバメント推進協議会」に名称変更)

3 会員

(1) 地方公共団体（一般会員）

武雄市、千葉市（会長市）、奈良市、福岡市、三重県、室蘭市、大津市、弘前市、横須賀市、郡山市、日南市、浜松市

(2) 大学・民間企業等（特別会員）

東京大学大学院情報学環須藤修研究室

日本アイ・ビー・エム株式会社

日本マイクロソフト株式会社

一般社団法人 オープン・ナレッジ・ファウンデーション・ジャパン

一般社団法人 オープンガバメント・コンソーシアム

4 事業内容

(1) マイナンバー制度の利活用の推進

(2) ビッグデータ・オープンデータの具体的活用策についての検討及び活用の推進

(3) 前2号に掲げるもののほか、電子自治体の推進

5 主な活動内容

平成25年度・・・協議会設立（武雄市、千葉市、奈良市、福岡市）

公開シンポジウム（アイデアコンテスト表彰式）（開催市：千葉市）

平成26年度・・・室蘭市、三重県加入

公開シンポジウム（アイデア・アプリケーションコンテスト表彰式）（開催市：福岡市）

平成27年度・・・大津市、弘前市、横須賀市加入

オープンガバメント推進協議会に名称変更

公開シンポジウム（開催市：室蘭市）

マイナンバー普及啓発イベント

平成28年度・・・郡山市、日南市、浜松市が加入

公開シンポジウム（RESAS活用研修優秀提案表彰式）（横須賀市）

平成29年度

公開シンポジウム※10月21日（土）（開催市：奈良市）

ビッグデータ・オープンデータ関連事業

時期	内容	備考
平成25年4月	武雄市、千葉市、福岡市と共にビッグデータ・オープンデータ活用推進協議会(現オープンガバメント推進協議会 以下OG協議会)設立	
平成25年8月	「ビッグデータ・オープンデータ活用アイデアコンテスト」に向けたアイデアソン開催 (OG協議会)	
平成26年8月	市公式ホームページ内に奈良市オープンデータカタログサイト開設	
	オープンデータのいろは(第1.0版)発行	庁内用職員向け簡易マニュアル
平成26年10月	「ビッグデータ・オープンデータ活用アイデア・アプリケーションコンテスト」に向けたアイデアソン開催 (OG協議会)	
平成27年4月	奈良市オープンデータ公開手順書(第1.0版)発行	各課が持つデータをオープンデータ化する際のマニュアルを整備
平成27年12月	「感染症流行警告アプリ ワーニング」リリース (OG協議会)	平成25年度にOG協議会で実施したアイデアコンテストにおいて最優秀賞を受賞し、引続き平成26年度同協議会実施のアプリケーションコンテストにおいても最優秀賞を受賞した作品を基にOG協議会で共同開発。インフルエンザの発生状況を可視化。
平成27年9～12月	経済産業省オープンデータ実証イベント開催協力	
平成28年2月	総務省「公共クラウド」観光データベースに奈良市観光情報データ登録	
平成28年度	奈良市オープンデータカタログサイト内公開データの拡充	H28データ数: 58 H29データ数: 253(8月末)
平成29年2月	「感染症流行警告アプリ ワーニング」感染症追加機能リリース(OG協議会)	咽頭結膜熱、感染症胃腸炎、手足口病の3種類の感染状況を表示する機能を追加
平成29年6月	奈良市保育園マップ作成	協力: Code for Nara

平成25年4月

武雄市、千葉市、福岡市とともに
「ビッグデータ・オープンデータ活用推進協議会(現・オープンガバメント推進協議会)」を設立



平成26年8月

奈良市オープンデータカタログ 開設
(統計)<防災><子育て><観光>の4分野からスタート



平成28年度

奈良市オープンデータカタログ 公開データの拡充

平成28年度公開データ数 平成29年度公開データ数(8月末現在)

58 データ 253 データ

【11分野】
 <行財政><防災・消防><住まい・暮らし>
 <文化・スポーツ・人権><福祉>
 <子育て><保健・医療・衛生><観光・産業>
 <インフラ・まちづくり><教育・生涯学習><その他>

平成29年度

「奈良市保育園マップ」

6/1リリース!



奈良市を中心に活動している非営利団体 Code for Nara (<http://www.code4nara.org/>) の協力を得て、「奈良市保育園マップ」を作成しました。

これは、奈良市の保有する保育園等に関するデータをオープンデータ化することで、コストを掛けることなく実現した事例です。

このように官民が協力することで、これまでのようにコストを掛けず、より市民目線の情報を提供していくことが可能となります。

奈良市では、今後も積極的にオープンデータ事業に取り組んでいきます。